

急流と土器の里。

球磨郡須恵村



人吉球磨盆地のほぼ中央に位置する須恵村は、面積一七・四一平方キロメートルの静かな農山村です。村の中心を日本三急流の一つ球磨川が貫流し、東には壺峰市房山が望めます。須恵村の地名は、郡内各地から出土する須恵器に由来するといわれています。その名は、米国の社会人類学者エンブリー博士の著書「日本の村、須恵村」として世界中で紹介され、国内よりも世界的に有名になっています。今でも毎年何名かの学者、研究者あるいは学生が国の内外から歴史研究のために訪れています。米・プリンスメロン・煙草等が主産物で、特にプリンスメロンは球磨の気候が栽培に適し、糖度の高い良質のものが生産され、球磨メロンとして注目を集めています。また、昭和四十二年以来無火災を続けており、この記録は、消防団を中心とした村民の防火意識の高さとして、村の誇りの一つとなっています。

山の幸、川の幸それに球磨焼酎のうまい、人情豊かな須恵村をぜひ訪ねてみてください。

●お問い合わせは、須恵村役場
(0966451121)



この新聞を制作した球磨郡須恵村立須恵小学校六年生のみなさん

自然に育つまれた平和な村

須恵才寸

私達の住んでいる須恵村は人口二五九二人、面積一七・四一平方キロメートルの小さな村です。農業がさかんです。その中でもプリンスメロンが有名です。四月五日に東京や大阪などまで出荷されているそうです。とてもおいそがしく手伝わなくても大丈夫です。でも、大きくなってきれいでおいしいメロンができた時はとてもうれしいです。その他米、麦、大豆、たばこ、草などを生産しています。牛や豚もたくさんいます。牛は千頭、豚は二百頭くらいです。須恵村には寺や神社が多い村です。その中にはたくさんのお祭りがあります。

給食研究発表会

全学年が食堂に入るとはいせんをいいます。縦割給食は1年生から6年生まで白衣をきて食堂に入り14班に分れてはいせんをしています。メニューや食べ物の中にふくまれているそれぞれの種類を黒板に書いたり、はたりして、テレビでも紹介されました。

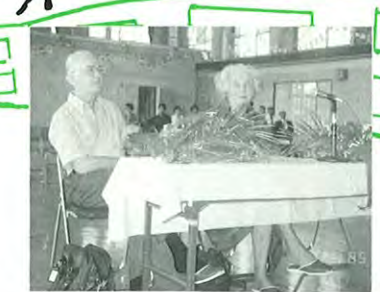


山房市

須恵村には九州第一の市房山も見えます。市房山の高さは千七百三十二メートルです。ぼく達は五年生の時市房登山がありました。その時はじいさまやつかたがいます。

球磨川は日本三急流の一つ、須恵村にも球磨川が流れています。球磨川には魚がたくさんいて、雨の日はたくさんつれます。

来村50周年記念祭



去年の11月7日に須恵小学校の体育館で給食研究発表会がおこなわれた。百五十人の人がこられた。百人が先生で後の五十人は、らいひんのみなさんでした。給食の授業をした後発表は合わせた。練習の時はみんな生きけんめい、合奏をもうつしました。練習の時はみんな生きけんめい、合奏をもうつしました。

18年間無火災の須恵村

ぼくたちの須恵村は人口1592人という小さい村だけど119人の消防団の人がいる。その消防団の人は火事が起きた場合どのように早く消したらいいかというように夜消防の練習をしたり冬の1月初めごろのでぞめ式を行ったりする。今年もテレビに4回も須恵村が写ったけどそこでも須恵村は無火災だ。無火災だといわれた。そして今須恵村は18年間も無火災である。ぼくたちも大人になったら火災のない村にこうかけていきたい。

ジョンエンブリー博士は、50年前の1939年に農山村を調べに、ご夫妻でこられ須恵村中を一年間あまり調べられた。そしてアメリカに帰られ須恵村という本をかかれ、須恵村は世界中に知られた。エンブリー博士は交通事故でなくなった。それから50年後、エラ夫人は須恵村にいられた。8月20日の小学校での記念会では児童が歌をうたったりして、かんげいした。エラ夫人は日本語がとて上手だった。中学校やなつかしい家などにもいかれた。昨日は部落でのものもようしや、婦人会でのおどりがあつた。よく晴れた日だったのであせばおほほと笑った。エラ夫人も写真に写っていた。テレビにもエラ夫人がいられたので昨日のことや昨日のこと、がうつった。おかげのことも写真などもうつった。エラ夫人はともわかくみえに、とておやさしそつひおばあさんだつた。またきてくれた。よい。